

# 令和5年度第1回 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

## 石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会 会議録

- 1 開催日時 令和6年2月8日(月) 午後2時～午後3時
- 2 開催場所 花巻市石鳥谷町八幡第4地割161番地  
花巻市石鳥谷総合支所 大会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 4名  
中村良幸委員長(花巻市文化財保護審議会委員)  
菊池康一委員(早池峰岳流石鳩岡神楽保存会長)  
吉田隆一委員(早池峰大償流土沢神楽保存会長)  
小原伸博委員(花巻市博物館学芸係長兼市史編さん室上席主査)
  - (2) オブザーバー 2名  
吉田純子 文化庁文化財第一課芸能部門主任文化財調査官  
佐藤郁哉 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課文化財専門員
  - (3) 事務局(教育部文化財課) 3名  
鈴木直明課長、伊藤真紀子課長補佐、佐々木勝也係長
  - (4) 映像記録撮影業務受託者 1名  
阿部武司(東北文化財映像研究所所長)
- 4 議題
  - (1) 令和5年度事業について
    - ・事業実施状況について
    - ・普及用DVDの構成内容について

## 5 議事録

### (1) 開会（進行：佐々木係長）

皆様お揃いになりましたので、始めさせていただきたいと思います。

まず会議に先立ちまして、本日、委員6名中4名のご出席をいただいております、本調査委員会設置要綱第5条第2項の規定によりまして、本日の会議は成立しますことをご報告いたします。

本日は時間の制約上、終了時間を午後3時30分と設定いたしますので、遅くとも3時半までには委員会が終わりますよう、限られた時間の中ですがよろしくご協議いただきますようお願いいたします。

なお、本日の調査委員会にはオブザーバーとしまして、文化庁吉田文化財調査官と岩手県教育委員会事務局から佐藤文化財専門員にご参加いただいております。吉田様、佐藤様どうぞよろしくようお願いいたします。

また本日、東北文化財映像研究所の阿部所長もいらっしゃっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、ただいまから令和5年度第1回記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会を開会いたします。

当文化財課の鈴木課長より挨拶を申し上げます。

### (2) 挨拶

#### (鈴木課長)

皆さん、こんにちは。本日はご出席いただきましてありがとうございます。昨年9月でしたけれども、阿部所長さんもお出席いただきまして、撮影演目の打ち合わせ、あるいは予定日をいつにするか、例えば合同撮影会をいつにするかというようなことで集まって打ち合わせさせていただきました。

もう2月に入り締め切りの時期に入ってきていますので、今日はそういった部分で文化庁から吉田さん、そして岩手県の方から佐藤さんということで、ご意見も頂戴しながら、皆様方と打ち合わせをさせていただきまして、進めさせていただきたいというふうに思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

#### (佐々木係長)

それでは協議に入りたいと思ひます。協議の進行につきましては、本調査委員会設置要綱第4条第2項の定めによりまして、委員長にお願ひいたします。中

村委員長よろしくお願ひいたします。

(3) 報告・協議 (議長：中村委員長)

(中村委員長)

それでは協議に入りたいと思います。多分最後の会議かと思ひますので、よろしくご審議をお願ひしたいと思ひます。

それでは令和5年度の事業について、事業実施状況についてと、普及用DVDの構成内容について、この二つについて協議したいと思ひます。事務局の方から説明をお願ひします。

(佐々木係長)

説明に入ります前に、本日の資料に差し替えがございます。皆さんのお手元に置かせていただいておりますが、資料No. 1石鳩岡神楽・土沢神楽 伝承・活用等事業実施状況と、資料No. 2演目の撮影実績と撮影見込一覧について差し替えをお願ひしたいと思ひます。

差し替えの内容ですが、資料No. 1には先日1月28日に石鳩岡神楽で行った舞初めについて、表の中で12番の項目に追記をしております。あわせて資料No. 2においても、舞初めの際に舞った「松迎舞」を撮影実績に加えたものとなっておりますので、差し替えをお願ひしたいと思ひます。

次に本日の配付資料の確認をさせていただきます。上から本日の次第、2枚目には委員等の名簿、3枚目に本調査委員会の設置要綱、こちらは両面刷りで裏面にも記載となっております。次に差し替えになりました資料No.1としまして、石鳩岡神楽・土沢神楽 伝承・活用等事業実施状況、資料No.2は石鳩岡神楽・土沢神楽演目の撮影実績と撮影見込一覧、資料No.3は普及用DVDについて、資料No.4は事業計画書、最後に資料No.5として、これまでの調査事業に係る経過ということで配付をしておりますのでご確認をお願ひします。

本日、資料No.4、5は参考資料ということで配布をしております、協議の中では資料No.1、2、3を用いたいと思ひます。

それでは協議の一つ目、事業の実施状況についてということで、資料No. 1と資料No. 2をご用意いただきたいと思ひます。座って説明させていただきます。

それでは協議の一つ目、資料No. 1とNo.2をご覧いただきたいと思ひます。初めに資料No.1です。1. 事業実施内容です。令和2年から5年度の期間において映像記

録を作成し、保存・活用するという事業の内容になっておりまして、本年度が令和5年度最終年度となっております。

2. 今年度の事業実施状況ということで、昨年度までに引き続きまして、映像記録撮影の業務委託につきましては、東北文化財映像研究所に委託をして、撮影を行っていただいているところであります。業務委託の契約期間が3月25日までということにしておりましたので、当然この日までに撮影も終えて、普及用のDVDやホームページで公開予定の広報普及用の映像データも完成されるものとなっております。

次、下の部分からは今年度における石鳩岡神楽・土沢神楽それぞれの収録日と内容の実績を掲載しております。石鳩岡神楽では演目収録を12回、習俗の収録を2回行っております。土沢神楽では演目収録を6回、習俗収録を3回行っている状況となっております。

その下、②③については会議の実施状況を記載しております。②ですが9月26日に先ほど課長の挨拶にもありましたように、正式な調査委員会ではなくて調査会として開催を行っております。調査会の際には、中村委員長、中嶋副委員長、石鳩岡神楽の菊池会長、土沢神楽の吉田会長に参集いただき、併せて阿部所長様にも同席をいただきまして、事業の最終年度である今年度の撮影の進め方について協議をいただいております。

そのときの協議結果として、未撮影の演目全てを撮影することは難しいことと、両団体とも最終的に30演目程度の収録を行うことということでご協議をいただいております。

次に資料No.2をご覧くださいと思います。こちらは今年度を含めまして令和2年度からの撮影実績を記載しております。今年の3月の調査委員会で配布した資料と同じ表となっております。そちらに今年度の実績までを追記しているものとなります。

資料の読み方ですけれど、撮影済みの演目につきましては日付と行事名を記入しております。○がある演目については伝承されている演目となっておりますので、従って○は付いているのですが、その右側が空欄となっている部分は、未撮影の演目となっております。

一覧の2ページに合計している欄がありまして、演目につきましては、石鳩岡神楽が撮影する演目43に対して、現在30撮影済みとなっております。プラス1と

書かせていただいているのは撮影予定だったものの、現在まで撮影が終わっていない分となります。

石鳩岡では1ページ目の色付きの部分、「竜宮渡りの舞」について前回の調査会の際には、11月3日に収録予定と伺っておりましたが、このときは別の演目を舞われたため、現在撮影が終わっていない分ということで、プラス1としてカウントさせていただいております。習俗については、合計の数の記載はありませんが、現在8つの習俗を撮影済みとなっております。

土沢神楽については演目44に対して、撮影済みは25+6ということで、色付きの6演目は前回調査会において吉田会長より、未収録の分でも優先的に収録して残しておきたい分ということで選択いただきまして、その中で現在まで収録が行われていない分のカウントとなっております。習俗については7つ撮影済み。もう一つ「おんだい舞」も収録して残したい習俗といった状況となっております。

資料の説明につきましては以上で終わります。皆様には3点についてご確認、ご協議をお願いしたいと思います。

まずは1点目ですけれど、恐れ入りますが記載内容の実績等について誤りがないかどうかご確認をお願いしたいと思います。

2点目、資料No.2に色付きとした演目について、今後の撮影予定をお聞かせいただければと思います。

3点目、今後の撮影予定ですとか、収録済みの演目で撮り直したい予定があるなど、そういった撮影の実績や予定全般に関してご意見をいただき、ご協議をお願いしたいと思います。よろしくご協議賜りますようお願いいたします。

(中村委員長)

それでは事業の実施状況についてということで、事務局の方からお話がありましたけれども、協議は今後の撮影予定についてですが、石鳩岡神楽さんは一つ「竜宮渡りの舞」ということで、これは収録していないから、また機会を設けてやるということですか。

(吉田委員)

その予定でしたけれども、断念しようかなという状況です。ただ、まだ他にもいっぱいあるのですが、ビデオが残っているものが何点かあって、その中にも「竜宮渡りの舞」があるので、今回はそのビデオを使用してもらおうかなという考えでいます。

その他についても、今わかっている範囲でお話しますが、資料No.2の1ページ目、上から3番目の「三番叟」は令和5年2月11日に撮影しているのですが、これは子どもたちの三番叟で、大人としての「三番叟」はおそらく撮影していないだろうという感じがありますけれども、これもビデオが残っていて令和5年10月11日に、石鳩岡で行った公演のときに撮られているはずですので、これはちょっと阿部さんの方にも後で確認をお願いしたいです。

「裏八幡舞」の空白、これは未定です。これについてもビデオは私が最近見た中では見当たらなかったのですが、これもビデオがある可能性は十分にあります。「岩戸開の舞（本式）」これも3月までの予定はなく、これもビデオが残っているのを確認しております。「悪神退治の舞」これについてもやる予定にしているのですが、これもビデオがあります。「五大龍王の舞」これについてもビデオがあります。その下の「恵比寿舞」これについてはやろうかなと思っていたのですが、これもまだ未定です。3月17日に持ってこられるかこられないか検討中です。先ほど言った「竜宮渡りの舞」はビデオがあります。下に来て、「苧環の舞」これは、今年3月17日の土沢神楽さんとの合同公演でやる予定にしています。一つ飛んで「橋架・橋引の舞」これは3月17日にやる予定です。「曾我・曾我兄弟」については、ビデオがあります。2ページ目に行きまして「木曾舞」これもビデオがあるのを確認しています。「注連切の舞」これもビデオがあります。石鳩岡としては、演目撮影の方は以上になります。

(中村委員長)

そうすると、石鳩岡神楽さんは、この○がついていたものは前のビデオと、今回撮ったものでほぼほぼ映像記録があるということですね。

(吉田委員)

ほぼあると思います。

(中村委員長)

これだけの未収録のものを、今からこの数は無理だと思いますけども、3月の合同公演で何演目かやられるということですので、最終的にはそれでやむを得ないかなという気はしますが、土沢神楽さんの方はどうでしょうか？

(菊池委員)

土沢神楽ですけれども、とりあえず今、2月・3月で収録予定のものをまずお話しします。

上から「岩戸開の舞」は令和6年3月17日撮影予定です。それから「悪神退治の舞」これが令和6年2月11日撮影予定です。撮影未定となっています「苧環の舞」これは一応3月17日を予定していますが、3月17日石鳩岡さんとの合同公演で、演目が重なるので相談してからということで、一応予定に入れていました。それから一つ空けて「橋架・橋引の舞」これは書いているとおりで、令和6年2月11日撮影予定です。2枚目の方に行きまして、「手剣の舞」これは確かやっていたと思いますが、記録になっていなければ映像記録があります。その下、「注連切の舞」2月11日撮影予定です。「江戸見物」これは令和6年2月11日撮影予定です。

あと習俗の方の「おんだい舞」ですけれども、なるべく撮りたいなと思ったのですが、ちょっと今のところ3月中までには撮影が難しいかなと思っています。

それ以外のものについては、大体昔撮った映像があると思いますので、そこは検討していきたいと思います。以上です。

(中村委員長)

土沢神楽さんの方は、裏舞が四つくらいあるんですね。ビデオとか前に撮ったものがあるのではないですかね。そういうことで現在の状況はこういうことだそうですね。

これにつきまして、吉田さん、今このような状況なそうですねけれどもいかがでしょうか。

(吉田調査官)

前回委員会に出席させていただいたときに、残りの期間との兼ね合いでどうになってしまうのかなというのは正直ちょっと心配をしておりましたが、過去にある映像も含め、ある程度映像収録が可能ということでちょっと安堵いたしております。

多分映像が既にあるものは優先的に新規に撮影するというのではなく、そういうような考え方で何をお撮りになるかを決められたかと思うのですが、念のため撮影を今回するもの、それからなかなか難しいというもの、もしその取舍選択の考え方みたいなものがあればお教えていただきたいなと思いますのと、今後、もし映像がやはりあった方がいいというようなものが出てきたときには何らかの形でまた映像をさらに追加していただくようなことも皆さんでバックアップしてお手伝いしていけたらいいかなというふうに思っております。

(中村委員長)

撮影につきましては、当初は全部を収録したいということでしたけども、途中でコロナが入りましたので、なかなかその日程調整等々が難しいということと、練習しないとできないという演目があったようですので、ビデオがあったものは結局、今回の収録には入っていないということになるのかなと思います。

土沢神楽さんの方でも、昔撮った演目が結構あったような気がしますので、最終的には○のついている演目でビデオで補える部分があるか、ご確認をお願いしたいと思います。

この中に入れていただいて、後から何らかの形でビデオができたときに、これだけの演目が他にもありますという形で出していかなきゃいけないと思いますので、その辺はお願いしたいと思います。

同じく石鳩岡神楽さんも、もしビデオが確実にあるということであれば、ここに記入していただいて、こういうところにありますよっていうのははっきりしていれば次に使いやすくなっていくのかなと思いますので、お願いしたいと思います。

最終的には、3月17日の合同公演が最後になるということですが、阿部さん、その辺は最終的にはいかがですか。

(阿部所長)

初めは2日の予定でしたが、どんどん延びて3週延びたので、ちょっと大変なのですが、その他の作業はその前に続けながらやっておいて、最終的に期日に間に合うように出すということになると思います。何とか頑張ってみます。

(中村委員長)

ぜひよろしくお願いします。

次に関係するのですが、普及用のDVDには大きくは影響しないということですよ。全演目を入れるわけではないでしょうから。

(阿部所長)

既存のビデオや映像は早めに出していただいて、メモとしてはどこで収録したのか、日時、演者がわかれば演者というところで、メモしてお渡しいただければと思います。

(中村委員長)

それでは土沢さんと石鳩岡さんはぜひ、阿部さんの方によろしくお願いしたいと思います。



(阿部所長)

私のところにも既存のビデオが、20年ぐらい前からあるのかもしれませんが、探ってはみますけど、なかなか膨大な資料でちょっと確認作業が間に合うかどうかわからないので、とりあえず各保存会様からいただくのが先決かなと思います。

(中村委員長)

ということで実施状況について、これについてまだ何かご質問とか追加のお話がありますか。

(吉田調査官)

実施状況の話とはちょっとずれてしまうのですが、今回この演目を撮られた映像というのはどういう形で成果品として収められるのかというのをちょっと教えていただいてもいいでしょうか？

(佐々木係長)

資料に記載がありまして、資料No.4を1枚めくっていただきます。色掛けをしているところがございます、(6) 成果品ということで昨年度までと同じようにそれぞれの演目ごとのDVD、2団体分納品いただいておりますし、あとはその年度の分を全部まとめて大きなハードディスクに収めていただいたのを各1個納品いただいております。

今回、最終年度ということで、それぞれの演目ごとのDVD 2団体分の成果品ですし、あとは今年度全部の収録データを保存したハードディスクが一つ、あとは最終年度ということでこの後の協議にもあります普及用のDVDですね。あとはそれに加えましてホームページで公開を予定している普及用の映像データということでこちらを業務委託の成果品ということで予定をさせていただきます。

(吉田調査官)

ちなみにですが、令和2年度から4年度まで、それぞれもう既に収録された映像は年度ごとに成果品ができているということで、そちらは文化庁の方には共有いただけていたでしょうか？

(佐々木係長)

まだ送っていなかったです。

(吉田調査官)

私もうっかりしておりまして、成果品は最終年度にまとめて出るのかなとい

うふうに思っていたのですが、それぞれの年度ごとに出ていたということで、まずはお送りいただいてもよろしいでしょうか？ どういう形で収録されて、どういう説明がついているのかどうかよくわかりませんが、全部ではなくても構いません。

最終的にはその収録データ全て保存したハードディスクを共有いただければいいかなと思いますものの、どういう形で既に成果品が出ているのかというのは確認をさせていただきたいと思いますので、まず一つ二つサンプルでもいいですのでお送りいただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。

(伊藤課長補佐)

これまでDVDを段ボール1箱分ぐらいで毎年納品していただいたので、ちょっと物量が物量なので、文化庁様の方には共有してなかったところですので、証拠写真ではありませんが、並べて写真なども撮って、サンプルと一緒に送らせていただきます。

(吉田調査官)

成果品が納入されているかの確認ではなくて、どういう映像を作られているのかということを知っておかなければいけなかったというところで、いくつかいただきたいなというふうに思います。

(伊藤課長補佐)

阿部所長の方から、撮ったものを無編集でそのままDVDに入れていただいているものになりますので、何個か送らせていただきます。

(吉田調査官)

お願いします。

(中村委員長)

そういうことで成果品の件はそれでお願いしたいと思います。最終的には全部の演目をハードディスク一つにして文化庁に送った方がいいとは思いますが、その辺はよろしく願いいたします。

(吉田調査官)

すいませんが共用させていただきたいと思います。

(中村委員長)

それでは事業実施状況については、他にございますでしょうか？

それでは普及用DVDの構成内容についてということで説明をお願いしたいと思います。

(佐々木係長)

協議の二つ目、普及用DVDの構成内容につきましては資料No. 3をご用意したいと思います。資料No. 3、初めに1として概要を載せております。普及員用のDVDは石鳩岡神楽、土沢神楽それぞれで制作を行うものであります。収録時間は約30分から40分を予定しております。それぞれ300枚作成いたします。配布先としましては市内の小・中学校と県内全ての図書館等を予定しております。こちらの内容については、これまでの調査委員会でも確認がされてきたものとなっております。変更などはございません。

次に普及用DVDの内容構成案についてになります。資料のとおり石鳩岡神楽、土沢神楽それぞれで構成が異なっておりまして、資料にあるとおりとなっております。

表の一番上のところの項目に映像と書いている2列目の表、こちらが各構成のタイトルを記載してございまして、その右のナレーションとあるところ、そちらの列についてはタイトルに対する内容を記載しているものとなっております。

こちらの構成案につきましては、東北文化財映像研究所の阿部所長様において作成したものとなっております。

事務局からはこれ以上の詳細の資料をご用意できていなかったのですが、本日、阿部所長様が見えられておりましたので、詳細などを確認させていただければとも思っております。

こちらの資料のみとなっておりますけれども、普及用DVDの構成内容についてということで、中身に問題がないかどうかですとか、他に盛り込みたい内容があるかどうかなど、そういったところをよろしくご協議賜りますようお願いいたします。

(中村委員長)

普及用DVDについて資料の説明をいただきましたけれども、石鳩岡神楽さんと土沢神楽さん、それぞれ別な形で1枚ずつということですよ。約40分の映像を作るということで構成案がこのとおり出ております。

これにつきましては、阿部さんに説明をいただくということですがけれども、よろしいでしょうか？

(阿部所長)

ざっとこんな感じの流れにと思って構成しました。それぞれの神楽の行事の違いなどがありますので、流れはちょっと違って来るかと思います。

やはり基本的にはその神楽そのものと、あと地域での活動というところを重点に、神楽そのものがどのように地域に受け入れられ、神楽の人たちが応えているかということを中心にしていきたいなというふうに考えて構成してみました。

ただ実際のところ、インタビュー等はまだ撮れていないので、その辺をこれから撮って、その話をうまく活用しながら全体の構成の中で流れを作っていくというふうに思っています。

数年間にわたる取材で、途中がコロナということがあり、なかなか地域の人との繋がりをうまく撮れないという状況があったのですが、できるだけその辺はうまく地域の様子というものを取り入れていきたいなと思っています。

石鳩岡神楽と土沢神楽の違いというのは、街場と農村地帯ということがありますので、その辺の違いなんかもちょっと出てくれば、双方を見たときに同じ地域でありながら、そういう形で神楽が伝承されているということを知っていただけるのではないかなと。

また共通点としては、同じ地域でいろんな行事とともに神楽大会など、そういう中で活動しながら切磋琢磨しているところが見えてくれば、またいいのかなと思います。

この2団体はそれぞれ大償と岳という流れの中で伝承が来たわけで、その辺も簡単に、あんまりしつこく説明しない方がいいのではないかと思います。やはり長い間、地元で活動していますので、そこを重視していきたいなというふうに思っています。

特に石鳩岡神楽の場合ですと、かなり古いところから繋がりが出てきて、調査報告書の中でのお話の中にいろんなニュアンスのものがありますので、それらの話を取り混ぜながら、話なんかをちょっと繋いでいければと思っていました。

大償流ということで土沢神楽の場合は南の方に広がっていくという傾向がありましたので、その辺で石鳩岡神楽と土沢神楽のちょっとの流れの違いといえますか、その辺を説明できればいいかなというふうに思っています。

どちらにしても古い歴史のある神楽なので、その辺の重さというものも考えながら、未来にどのように継承していけるのかというところが問いかけられれば、見る方にもいいのではないかなと思いつつ構成を考えました。

(中村委員長)

阿部さんの方から説明をいただきましたが、それぞれの神楽の特色を打ち出すようにしたいという心強いお言葉でしたが、これだけの数のタイトルを40分の中に入れたら、かなり詰まるのではないかという気はしないでもないのですが、大丈夫ですか。

(阿部所長)

演目なら見せることはできないですけども、特徴的なところを上手くつまんでいければいいかなと思います。実際は切れるところは切っていくかもしれませんが。

(中村委員長)

これについてご意見ございますでしょうか？例えば土沢さんとか石鳩岡さんでこれを入れて欲しいとか、そういうものがもしございましたらご発言いただければと思いますが、大丈夫ですか。

演目はこの中に入るわけでしょうけど、全部は当然入らないでしょうから、飛び飛びで行事とかの中に入っていくということですね。

吉田調査官さん、このような構成でどうでしょうか。

(吉田調査官)

私も拝見して、すごく内容が豊富で盛沢山な印象があって、この内容が収録時間の中に上手く盛り込んでいかれたら本当にいいなというふうに思いました。ぜひ地域の方々にご覧いただいて、皆さんが神楽の特色を理解して、またそれを応援して下さるような、また子供たちとかがやってみたいなと思って下さるような、何かその次に繋がっていくような映像になるといいのかなと思えました。

(中村委員長)

県の佐藤さん、何かご意見ございますでしょうか？

(佐藤文化財専門員)

本当に盛りだくさんな内容でぜひこれがきちんと収まって、見る人がちゃんとわかるようなものになっていただければいいのかなというふうに思っております。

ました。事業年度最後ということですので、いいものが出来上がることを期待しています。よろしく願いいたします。

(吉田調査官)

もう2月なので、3月までに仕上げていくというスケジュール的なところをうまくやっていただけるんだと思いますけれども、そんなに期日も多いわけではないので、大丈夫でしょうか。大丈夫だと思いつつ、念のためでございます。

今後のご予定とか、スケジュールなどを教えていただけますとありがたいなと思いました。

(中村委員長)

ということだそうですので、阿部さんの方から今後の何か、制作にあたってのスケジュールとかはありますか…というのも変ですけれども、どうですか。

(阿部所長)

そうですね、この間まだ取材というものが残っているので、その辺、取材の中でこれに付随するようなことを収録していくということで、バタバタとやっていくしかないかな。

(吉田調査官)

ナレーションでどなたかが原稿を読み上げるのですか。

(阿部所長)

まずは機械的なナレーションで繋いでみて、最終的に人でやってもらうという形になると思います。

(吉田調査官)

ナレーションの原稿案みたいなものはありますか。

(阿部所長)

はい、ナレーション原稿はいずれにしても、この組み立ての中で作りますので、それはまた別途、事務局に提出します。

(吉田調査官)

恐れ入りますが、もし共有いただけるならお願いいたします。

(阿部所長)

期日の問題とか、何かあればまた提出するとかってということで、最終的に決定稿が出た時点で、本当のナレーションを撮るということになると思います。

(吉田調査官)

それぞれ300部ずつ作られるのも含めて、発送とかも込みで年度内にいけそうな感じですか。

(佐々木係長)

委託の中でまず成果品を収めるところまで3月25日という契約にしておりまして、あとは発送とかにつきましてはこちら事務局の方の事務になります。

(吉田調査官)

補助金の中に発送とかは入っていましたか。

(佐々木係長)

はい、郵送料が入っております。

(吉田調査官)

そうなりますと、年度内に発送までやっていただかないと。

(佐々木係長)

わかりました。ありがとうございます。

(中村委員長)

ということで、発送までで3月31日までに収めるということですので、よろしくをお願いします。

インタビュー大変そうですけれども、間に合うということで近くの人ですから、撮る気であればいつでも撮れるでしょうけれども、その辺はよろしく願いいたします。

ナレーション原稿の方は、できましたら文化財課経由で吉田調査官さんの方に一度チェックしてもらった方がいいと思います。最終チェックを入れてから最終入れ込みした方がいいというふうに思いますので、その辺はよろしく願いしたいと思います。

あとは普及用DVDについては小中学校中心ということですので、少しわかりやすい文言で書かれるとは思いますが、300部有効に使っていただくようお願いしたいと思います。

あとDVDにつきましてご意見等ございますでしょうか？

これ学校だけで、市町村教育委員会とかに送らないのですか。

(伊藤課長補佐)

市内の小中学校と県内の図書館、県内の教育委員会にも送ります。県内各所、施設等に送る予定となっています。

(中村委員長)

各県には送らないのですか。

(伊藤課長補佐)

各県立図書館に送ると50かな。

(中村委員長)

各県に送ると300部では足りないかもしれないけど…

(伊藤課長補佐)

その辺はちょっと塩梅を見ながら、主要なところだけになるかもしれません。

(吉田調査官)

300部というのはそういう送り方でいいですかね。こちらの方の裁量でいいのですか。

(吉田調査官)

例えば東京文化財研究所ですとか、送ったほうがいいかなというところはいくつかあります。

(伊藤課長補佐)

国の機関ですとか民俗芸能などを研究されているようなところには洩れなく送ったほうが良いと思いますし、何かリストがあればご提供いただければ、そこには送らせていただく予定でありますし、神楽さんの方にもお付き合いされている団体とかがもしあれば、そういったところにも提供させていただきたいと思いますので、リストをまとめまして、いい具合に配分させていただきたいと思います。

(吉田調査官)

送付先のご予定の一覧みたいなものがあればお送りいただいて、それを拝見して、ここにも送っていただいたらいいかなというところはお伝えさせていただきます。

(伊藤課長補佐)

そうですね、迷いましたらご相談させていただきます。

(中村委員長)

それでは、そういうふうな方向でお願いしたいと思います。あとはご意見ございますでしょうか？



それでは普及DVDの構成内容についての協議はこれで終わりたいと思います。他に何かありますか。資料No.5は経過なのでいいということですよ。

(佐々木係長)

はい、参考配布となっております。

(中村委員長)

では資料No.4とNo.5はもういいということですので、協議はこれで終わりのようです。あとは事務局にお返しします。

(佐々木係長)

中村委員長、進行ありがとうございました。次第に戻りまして4.その他に進みたいと思います。事務局からは特にございませんが、皆様から何かございましたらばお願いしたいと思います。いかがでしょうか？

(吉田調査官)

広報・普及用映像とはどのようなものですか。

(佐々木係長)

普及用の40分のDVDの中から、さらに内容を縮小して5分ものを作っていたたく予定になっております。

(吉田調査官)

それは花巻市さんのホームページで見られるような感じですか。YouTubeみたいな感じで。

(佐々木係長)

そうですね。

(吉田調査官)

わかりました。

(佐々木係長)

他に何かございますでしょうか？菊池さんお願いします。

(菊池委員)

この場で質問するのもどうかというのがあるのですが、3月17日の合同公演ですけれども、この合同公演日の日にちと場所等は両神楽でやったわけなのですが、3月17日の公演に関して、何か実行委員会みたいなもので、計画を作ろうとか何かそういうことを考えているのですか。

例えば、ないとすれば私達両神楽と阿部所長で進行がらみとか招待者がらみとか、私達の方でやることになるのかどうかお伺いしたいと思うのですが。

(佐々木係長)

ちょっと予定はしていなかったのですが、何か不足なところとか、あとは役所ということで何かできるようなところとか、そういったところでお手伝いをさせていただきたいと思っていますけれど、全般の運営などに関しては、恐れ入りますが両神楽さんの方でお願いいただければと思います。

(菊池委員)

わかりました。相談的なものはあるかもわかりませんが、それでは、阿部さんも一緒にお願いしたいです。

(阿部所長)

一応、記録事業の一環としてやりたいなと思っています。ですから一応、記録ということ的前提に事業を進めてみたいなと思っておりまして、いくらか諸費用がかかるかと思うのですが、それは事業の中から出すという感じでやりたいと思っていました。当然、そんな予算はないでしょうから。

ですから周知の方をぜひ文化財課の方で、例えばホームページに載せていただくとか、何らかの形で周知をしていただければなど。せっかく合同でやるのに、ある意味でこの記録保存の成果発表という性格がありますので、その辺が伝わっていればいいのかなどというふうに思います。双方の神楽さん、数年間この事業で本当に大変だったと思うんですよ。本当にコロナ禍でやりたくてもやれないとか、練習ができない中でやってきた成果なので、ぜひ多くの人に見てもらえたらいいなと思います。

それで今回は何か体育館を利用して、寄贈された神楽舞台を組み立てて、そういう中でやるのでまた一つ、シチュエーションの違う形の神楽公演になると思います。

(菊池委員)

体育館はちょっと都合が悪いかなということで、コミセンにしました。

(阿部所長)

わかりました。そういうのはまた次の機会になると思いますけど、いずれいろいろ二転三転していますけど、いずれさっき言ったように成果発表ということで、合同公演ということできればと思っていました。

(伊藤課長補佐)

PR的なものは、こちらの方でコピーしたり送ったりなど、ご協力できますのでご相談いただければと思います。

(阿部所長)

来週あたりに打ち合わせをして、詳細を決めて式次第というか、演目、時間、場所などをお知らせできると思います。

(菊池委員)

時間は午後1時頃からと決まっています。場所は東和のコミセンです。なかなか取れる場所と、寒さと…いろいろ考えた結果、17日のコミセンにたどり着きました。ちょっと狭いかなと、それだけが心配です。

(中村委員長)

この間、土沢神楽さんがやったときは超満員でした。舞台の設置の仕方が悪かったように思います。舞台の向きを変えた方が横まで人が入れるので、もっと人が入れるようになるのかなと思います。

(佐々木係長)

他に何かよろしかったでしょうか。吉田様お願いします。

(吉田調査官)

これは今後ぜひ、花巻市さんをお願いをさせていただきたいのですが、やはり調査事業と先ほど阿部所長がおっしゃったよう、映像記録撮影ということで非常に長い年月、両保存会の皆様は頑張ってくださいました。

それでこの成果を、広く市民の方にお伝えをしていただく何か工夫を考えていただけないかなというふうに思っています。

今、補助事業で調査をしていただいたり、映像を撮っていただいたときには、報告会みたいな形で市民の方対象に、調査の結果この神楽はこんな特色があるよというのを調査委員の先生方にお話いただくとか、あるいは撮影してできた完成した映像を市民の皆さんに見ていただくような、そういう上映会みたいなものやっていたり、あるいはそこに実際の神楽とかそういう民俗芸能を生でご披露みたいなことも加えたり、いろいろな構成で皆さんにその成果をお伝えしていただくような機会を、できれば作ってほしいということをお願いをしています。

せっかくですので、これまでの長い年月の調査と映像の記録の成果を、皆さんに広く見ていただいて、また見てくださった方が神楽を応援していくというような、何か良い循環を作っていただくような、そんな工夫を今後、考えていただけたらなというふうに思っています。今回最終ということなので申し上げます。よろしく願いいたします。

(佐々木係長)

わかりました。ありがとうございました。他に何かございますでしょうか？よろしいですか。

それでは以上をもちまして、令和5年度第1回記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会を閉会いたします。本日は皆様大変ありがとうございました。